

令和2年度ブロック研修会報告書

令和3年3月12日

ブロック名 九州ブロック

令和2年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	未来を創造する公衆衛生看護活動の展開 ～保健師の原点から住民と共に創る未来～ 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における保健師の役割」
研修の概要	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各支部にて下記テーマの研修を実施。 3においては、講演予定であった講師に解説入りの資料を作成してもらい、各支部に配信。 1 全国保健師長会活動報告 2 「災害時の保健活動推進マニュアル」を活用した災害時の保健活動推進と保健師の役割 3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における保健師の役割 なぜ一体的実施が必要なのか、国が法律を改正して推進しようとしている意味、保健師の保健医療の視点が大切なポイントであること等
意見交換の内容など	集合研修にて実施したのが5支部、書面開催が5支部。 集合での参加者117人、書面参加者439人と、例年より多くの会員が参加し研修内容を共有することができた。 <意見抜粋> 1 全国保健師長会活動報告 ○「保健師活動の可視化については課題である」と感じている者が多い。 2 「災害時の保健活動推進マニュアル」を活用した災害時の保健活動推進と保健師の役割 ○頻発する災害に対し、日頃からマニュアルを読み緊急時の役割を把握しておくことが大切。 3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における保健師の役割 ○一体的実施は予防の観点で切れ目のない支援を行っていく、まさに保健師の原点だと感じる。 ○各事業へ保健師が関わる中で、まずは高齢者自身が自分の体の状況を把握するためにも健診受診を入口として重要であることはまさしくその通りである。 共通して、統括保健師について、その必要性、役割の大きさ、統括保健師を軸とした県と市町村との連携の重要性について等の意見がみられた。